

■ 市長から市民のみなさんへ



市長 白平博文

■ 素案が提出されます

いよいよ3月17日、公募市民による「自治基本条例をつくる会」から市長あてに自治基本条例の素案が提出されます。進む地方分権のもと「住民参加」と「情報共有」という二つのキーワードで、市民・議会・行政の役割や責任を見直し「市民が主役のまちづくり」の基本的なルールを作ろうとするものです。素案は次号以降の広報「さんようおのだ」に全文を掲載しますので、どうぞご意見をお寄せください。「自治基本条例をつくる会」の提出を受けてさらに調査検討を重ね、12月議会には条例案が出せるよう準備を進める予定です。

■ 認定審査が始まります

本市産の名産品の認定審査が、山陽小野田観光協会が始まります。菓子類、酒類、農産物、水産加工品、工芸品などについて、協会内の名産品推進協議会が審査を担当し、認定された名産品には素敵なシールが貼られ、観光客はもとより、広く全国に本市の名産品として宣伝・推奨されるそうです。

3月20日から京都以西の高校サッカーの有力校が集まる春恒例の「高校サッカーフェスティバル」が開催されます。秋には国体本番の1年前の「プレ国体」に全国から選手や関係者

が本市に来訪の予定です。名産品の認定シールが威力を発揮することを市民のみなさんと一緒に願うばかりです。

■ 来訪者があります

先日、福島県の^{あだたらやま}安達太良山の麓にある二本松市の市長から電話が架かってきました。「新年度の教育関係の新規事業として、ぜひ“生活改善・学力向上プロジェクト”に取り組みたい、については先進地の山陽小野田市を訪問し、学校現場を視察したい。」とのことでした。二本松市は5年前の合併で人口は本市の数に近づきましたが、小中学校の数が増え、今なお30もの学校が点在しているそうです。子どもたちのために何をしてやれるか考え抜いた結論が、本市が平成18年度から全市的に取り組んでいる“生活改善・学力向上”だったとか。「子どもたちの学力を伸ばしてやりたい、子どもたちに自信を持たせたい、生きていく力を身につけさせたい」。想いはどこの市長も同じなんですね。4月に教育長ほか数名の教育関係者を同行して来訪されます。

対話の日

3月25日(木) 19:00 ~
吉田地集会所